

# 令和2年度 自己評価公表シート

認定こども園龍谷きくし保育園

## 1.本園の保育目標

認定こども園龍谷きくし保育園の保育目標は、「出逢い ふれあい 育ちあい 共に育む生きる力」です。様々なことに出逢える尊い経験は、子ども達の世界を大きく広げ、子どもたちの創造力を伸ばし、子ども自身の力で自らを発達させていくことでしょう。

## 2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

令和2年度認定こども園龍谷きくし保育園、教育・保育課程における、教育・保育目標に基づいて自己点検・自己評価を実施することによって、新たな各自の課題を考察し、職員全体で協力し合い、教育・保育内容の改善に取り組んでいくことを重点項目とする。

## 3.評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
保育・教育課程の編成・実施に関して職員間で共通理解を図る。	保育所保育指針を職員間見直し、保育課程を整理・編成を行い取り組む。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手だてを講じる。	クラス報告を行い、日々の個々の記録を整理し、また、発達記録(見守る保育)を年に2回記録し、子どもの実態の把握に努めている。
教育・保育の質の向上のために、職員会議・園内研修を充実させる。	定例の職員会議に加え、必要に応じて話し合いの機会を設けたり、研修報告を職員間で共有し、保育の質の向上に努めている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情などに適切な対応を行う	保護者からの意見を真摯に受け止め、保護者対応を行っている。また要望に対しては謙虚に受け止め記録をし、職員間で共通理解を図っている。
各研修会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会に参加し、研修報告として資料にまとめ、常に内容確認出来るようにしている。
発達過程や状況を踏まえ「指導計画」を作成し、計画・実践・省察・評価・改善のサイクルを確立する	教育・保育の内容に関する全体的な計画を基に、発達過程や状況を踏まえ、クラスごと年間を通して保育計画を立て、年に1度、各年齢ごとの評価項目に沿った自己評価を行い改善に努めている。
園の財務状況を積極的に公開する	公認会計士により適正に処理されていると認められている。

#### 4.具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	保育課程を職員全体で考察し保育の見直しを行っている。また、協働意識を高める為、職員間の打ち合わせや会議も行えている。今後は、日々の協働を更に保育に活かし職員間で連携し、1人ひとりの子どもたちのありのままの姿を丁寧に受け止め保育し、保育目標に向け努力して欲しい。

#### 5.今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
研修について	各職員のキャリアパス等を見据え、積極的に職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成し実践できるよう努める。
記録書類の作成	保育や常務上書類は、速やかに記録作成に努め、職員間での共通理解も怠らない。
保育計画について	教育・保育課程に基づいた保育計画を立て、先を見据えた保育に努める。

#### 6.施設関係者評価

保育者の日々の努力が伺えます。  
保育や業務に対しての自己評価をしっかりと行い、一つずつしっかりクリアして保育を高めて欲しい。  
保護者支援に対しても丁寧に向き合い、様々な家庭のニーズにあった日々の保育を行ってほしい。